

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成28年12月27日

施設名	青少年体育館	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	--------	-----	------------

1. 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	平成27年4月1日～32年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関するこ ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関するこ ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成27年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年体育館スポーツ交流会 ・小学生スポーツ教室 ・初心者スポーツ教室 ・各スポーツ大会、教室(ドッジボール・バレー・バスケットボール) ・地域自主クラブスポーツ活動支援 など 		
施設内容	<p>青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。</p> <p>利用開始日:平成3年12月1日 建築物:鉄筋コンクリート一部2階 施設概要: 1階アリーナ 1,728m² バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面 トレーニング室 144m² 会議室72m² × 2室 更衣室・シャワー室 2階観覧席 1,500席</p>		
職員体制	職員:館長1名 館長補佐1名 指導員3名 事務員1名 合計:6名 ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務		

2. 収支の状況

(単位:円)

		H26年度(決算)	H27年度(決算)	H28年度(予算)
収入	県支出金	38,023,120	38,024,201	38,665,000
	事業費収入	679,590	614,060	493,000
	収入計	38,702,710	38,638,261	39,158,000
支出	事業費	450,161	446,252	432,000
	管理運営費	16,048,972	15,902,055	16,767,000
	人件費	19,249,817	19,341,605	19,058,000
	消費税	2,953,760	2,948,349	2,901,000
	支出計	38,702,710	38,638,261	39,158,000
使用料収入		4,217,850	4,228,970	4,327,000

3. 利用実績

(1) 利用団体数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
団体数	1,387	1,521	1,688	1,575	1,508	1,536
人数	57,810	67,267	66,994	65,964	60,926	63,792

(2) 利用者数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
人数	57,810	67,267	66,994	65,964	60,926	63,792

4. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。 ○小学生を対象にした「小学生スポーツ教室」は、施設の看板行事の一つとして、地域住民に浸透している。新たに対外試合も実施した。 ○施設利用者同士の交流を目的とした「スポーツ交流大会」を実施し、利用者の新たな交流・親睦を深めることができた。 ○スポーツに精通した指導員が学校の部活顧問と連携を行い、新たな利用拡大に取り組んでいる。 ○大学の実習生を受入れて実習指導を行うなど、大学との連携に努めている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。 ○職員の指導力向上を図るため、小学生スポーツ教室等の講師を行っている。 ○「スポーツ施設等情報システム」で、施設の空き情報を提供している。 ○地域自主クラブの練習時には要請に応じて、指導員が指導するサービスを行っている。 ○いの町の緊急避難場所に指定されているため、利用者を交えた避難訓練を実施した。
③施設の運営について	施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。 ○引き継ぎミスがないように、連絡事項は業務日誌に記載し、職員間で連絡を密にして業務に当たっている。 ○トレーニング室で、正しい機器の使い方の指導を行っていることから、利用者のマナーが向上し、機器の安全が保たれている。 ○アリーナ内の巡回を行い、安全で清潔な状態を保つように取組んでいる。また、業務の合間には指導員自ら清掃や草刈りなどを行い、経費削減に努めている。 ○少ない職員数で多くの利用者への対応がスムーズにできるよう、工夫しながら効率化を図っている。
④利用実績	○平成26年度と比較して、利用団体数:67団体減少、利用者数:5,038人減少となった。

⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年度と比較して、使用料収入は約11千円の増収となった。 ○管理代行料は、予算額をほぼ全額執行した。(県に799円返還) 平成27年度決算額(県支出金) : 38,024,201円
総合評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者として仕様書どおりの適正な管理が行われている。 ○年末年始等7日間以外は全て開館し、利用者増加に繋げる努力をしている。 ○各スポーツの専門スタッフを配置し指導にあたるなど、利用者のニーズに丁寧に対応している。 ○障害者スポーツの競技人口の増加を踏まえ、障害者が施設を利用しやすい環境の充実に努め、障害者スポーツの推進に寄与することを期待する。 ○隣接する高知青少年の家及び伊野スポーツセンターと連続した研修の実施などにより、更なる利用者拡大に繋げるよう期待する。 ○利用の多いトレーニング室の利用者向けの講座については、大学など外部の専門家と連携した事業展開を期待する。 ○職員の指導力向上など、長年の課題が少しずつ前向きに動き始めている印象があり、次年度の運営において人材育成の成果を大いに発揮されることを期待している。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの